

令和 3 年度
札幌市営企業調査審議会第 1 回下水道部会
質問・意見に対する回答

令和 3 年（2021 年）7 月
札幌市下水道河川局

1 議題 令和3年度札幌市下水道事業会計予算の概要について

No.	質問・意見	市の回答
1	朝倉委員 不足額に対して、補填内容に 同意します。	ご理解を賜りありがとうございます。引き続き計画した事業 を着実に実行し、健全で持続可能な経営を目指してまいります。

No.	質問・意見	市の回答
2	<p>河原委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」3ページの「5年間の傾向」で、収益的収入の下水道使用料は横ばいとなっています。</p> <p>特に、前年度（令和2年度）から今年度（令和3年度）にかけて、長引く新型コロナウイルスの影響は、あまりないのでしょうかと、疑問に思いました。</p>	<p>当該資料の令和2年度は予算であり、令和2年度予算の策定は令和元年12月までに編成作業を行っており、当時は新型コロナウイルスの影響を見通せなかつたため加味しておりません。</p> <p>中期的な傾向としては横ばいとなっていますが、令和2年度実績では減少を見込んでいます。</p> <p>なお、令和2年度決算については、11月初旬に議会の議決を経た後に公表する予定です。</p>

No.	質問・意見	市の回答
3	<p>名本委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」1ページの収益的収入の下水道使用料（年間処理水量）が、令和2年度から令和3年度の間で処理人口が増加しているにもかかわらず減少する理由を教えていただきたい。</p> <p>また、「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025」27ページの「中期財政見直し」の中で、令和3年度から令和4年度の間で下水道使用料が11億円増加すると想定した根拠を教えていただきたい。</p>	<p>令和2年度予算は、令和元年12月までに編成作業を行っており、新型コロナウイルスの影響を見通せなかつたため加味しておりませんが、令和3年度予算ではその影響を反映しております。</p> <p>令和3年度予算における使用料については、処理人口増やコロナ禍での外出自粛等による家庭用使用料の増加に比べ、営業自粛や観光需要の落ち込み等による業務用使用料の減少が大きく、全体としては減少を見込んだものです。</p> <p>一方、令和4年度以降については、企業への経済対策やワクチン接種が進むことによる経済活動の回復を前提に、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復する見通しとして、使用料の増加を見込んでおります。</p>

No.	質問・意見	市の回答
4	<p>名本委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」1ページの収益的支出の人事費と物件費（維持管理費）が、令和2年度から令和3年度の間で減少すると想定した理由を教えていただきたい。</p>	<p>人件費については、職員数の減により、物件費については、動力費等の減少により減少しております。</p>

No.	質問・意見	市の回答
5	<p>名本委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」1ページの資本的支出の中で、令和元年度の繰越や国の補正に伴う令和3年度の補正分が令和2年度予算の建設改良費に含まれる理由を教えていただきたい。また、今後ともこのような記載方法になるのかどうか教えていただきたい。※1の注書きにある「現計予算」の意味を教えていただきたい。</p>	<p>資本的支出の予算繰越とは、地方公営企業法第26条の規定により年度内に支払い義務が生じなかったものは、その金額を翌事業年度に繰り越して使用することができるものであり、また、国の補助金等の変動や緊急やむを得ない場合などに予算の追加その他の変更を行うものを補正予算といいます。いずれも会計年度としては当年度予算となります。</p> <p>※1に記載の現計予算とは、前年度からの繰越及び補正予算を含む最終の予算をいいます。</p> <p>令和3年1定補正分とは、令和3年3月3日に下水道事業会計補正予算が議決されたものを示しており、会計年度としては令和2年度予算となります。</p>

No.	質問・意見	市の回答
6	<p>名本委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」1ページの資本的収入においても、令和元年度の企業債や国庫補助金の繰越金、国の補正に伴う令和3年度の補正分が令和2年度の予算に含まれているのかどうか教えていただきたい。</p>	下表のとおり含まれています。

(単位:千円)

	令和2年度 当初予算額	令和元年度 からの繰越額	令和3年1定 補正分	最終予算 (現計予算)額
企業債	16,598,000	969,000	2,340,000	19,907,000
国庫交付金	4,264,500	438,380	827,900	5,530,780
負担金	945,704	153,000	—	1,098,704

No.	質問・意見	市の回答
7	<p>松浦委員</p> <p>5月18日付け日経新聞で、「札幌市が2月以降、市内3カ所の下水処理施設で流れる下水から新型コロナウイルスの遺伝物質を検出するモニタリング調査を実施している」と報道されています。</p> <p>下水道事業会計予算に直接関連しない事柄かもしれません、その概要と、調査分析結果がどのように活用されているのかをご教示願います。</p>	<p>札幌市では、令和3年2月に北海道大学と受託研究契約を締結し、下水中の新型コロナウイルス濃度と市内の感染者数との関連性についての調査研究を行っています。</p> <p>現在は、市内3カ所の水再生プラザ（下水処理場）の流入下水を定期的に分析してデータ収集を行っており、調査分析結果の活用方法については、今後検討してまいりたいと考えております。</p>

No.	質問・意見	市の回答
8	<p>水澤委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」3ページの「3 5年間の傾向」の下水道使用料について、コロナ禍の影響が大きい令和2年度の下水道使用料は、同じくコロナ禍の影響が少ない令和元年度より+282百万円と增收になっています。それに対し、令和3年度は令和2年度より-1,174百万円と大幅減収になっております。なぜ、令和2年度では增收になり、令和3年度では大幅減収になると想定されているか、その想定した考え方をお教え願います。平成29年度～令和3年度の家庭用と事業用での使用料（基本使用料と従量使用料）の推移をお示し願います。</p>	<p>令和2年度予算の策定は令和元年12月までに編成作業を行つており、当時は新型コロナウイルスの影響を見通せなかつたため加味しておりませんが、令和3年度予算策定時は、コロナの影響を加味して策定しています。</p>

平成29～令和3年度家庭用と事業用の使用料（基本使用料と従量使用料）の推移

（単位：百万円）

区分	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（予）	令和3年度（予）
家庭用 (家事用)	基本使用料	7,381	7,465	7,623	7,739	7,704
	従量使用料	3,803	3,738	3,775	3,775	4,590
	計	11,184	11,203	11,398	11,514	12,294
事業用 (業務用)	基本使用料	359	368	345	357	290
	従量使用料	9,378	9,192	9,048	9,318	7,451
	計	9,737	9,560	9,393	9,675	7,741

No.	質問・意見	市の回答
9	<p>水澤委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」3ページの「3 5年間の傾向」の維持管理費について、コロナ禍の令和2年度の維持管理費は、コロナ禍の影響が少ない令和元年度より+1,945百万円と大幅増加しています。それに対し、令和3年度は令和2年度より-395百万円と減になっております。①なぜ、維持管理費が令和2年度より令和3年度が減少するのか、その理由をお教え願います。②また、令和元年度と令和3年度との比較では、+1,550百万円と大幅に維持管理費が増となっております。その理由は何かお教え願います。さらに、平成29年度～令和2年度までの維持管理費は平成29年度～令和2年度までの下水道使用料より低い結果でしたが、令和3年度の維持管理費はコロナ禍であれ、下水道使用料より+783百万円も増加になっております。③令和3年度は大幅減収を想定している中で、維持管理費の削減を検討したのでしょうか。維持管理費の効果的削減施策として、どんなことを検討し、取り組んでいるのでしょうか。</p>	<p>① 令和2年度予算比では、人件費については職員数の減により、物件費については動力費等の減により減少しています。</p> <p>② 令和元年度決算比増については、執行前の予算と過去の執行後の決算との比較となるため、単純な比較は困難ですが、増の理由としては委託料、退職給付金の増等となっております。</p> <p>③ 施設の維持管理については、予防保全の考え方に基づき計画的に取組んでおりますが、令和3年度予算については、下水道使用料の減少を見込んでいることから、支出については、修繕等を延長できるものは可能な限り延長するよう見直しを行っております。</p>

No.	質問・意見	市の回答
10	<p>水澤委員</p> <p>「令和3年度下水道事業会計予算の概要」3ページの「3～5年間の傾向」の企業債と建設改良費との関係について、令和2年度の建設改良費の増加分を令和2年度の企業債の増加で補っているように見えますが、令和3年度も同様に建設改良費の増を企業債の増で補う構造と理解してよいのでしょうか。</p>	<p>建設改良費の財源として国庫交付金を積極的に活用し、その他の財源として企業債等を充てており、建設改良費が増となると、企業債も増となります。</p>

2 議題 札幌市下水道事業中期経営プラン 2025（案）の報告について

No.	質問・意見	市の回答
1	朝倉委員 下水道使用料の減少と建設事業費の増加、維持管理費の増加とをふまえた、健全な運営を期待します。	ご意見のとおり、今後は収支が厳しさを増していく見通しであります。改築基本方針などを踏まえて効率的な投資を行うとともに、更なるコストの縮減や新たな財源の確保を図り、引き続き、健全な財政運営に努めてまいります。

No.	質問・意見	市の回答
2	<p>河原委員</p> <p>「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025」の 6 ページ「下水道サービス向上」や 25 ページ「下水道の見える化」で、この各イベントの写真は、何年前のを載せているのでしょうか。この様な写真は、できるだけ近年のを使うのではというイメージがあります。これらの各ページのイベントを目にして、コロナ禍の昨年開催の様子とは思えません。この状況だからこそ、何年何月に撮影されたのか明記されても良かったのではと感じます。記録等に、コロナ禍の状況が感じ取れる事が残ったとして、何か問題があるのか疑問です。</p>	<p>令和 2 年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人が集まるイベントは全て中止となつたことから、過去に開催した際の写真を掲載しています。</p> <p>写真の選定にあたつては、イベント内容のわかりやすさを重視しており、開催した年度も異なることから、開催時期は記載しておりません。</p>

No.	質問・意見	市の回答
3	<p>名本委員</p> <p>「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025」の 16 ページの左上の「雪対策施設と雪堆積場の位置図」と、下の「下水道の雪対策施設」をリンクさせた方が分かり易いのではないでしょうか。例えば、上の図の赤丸表示を、下の図の「融雪管」は赤星印（★）、「融雪槽」は（■）、「下水道管投雪施設」は（▲）、「地域密着型雪処理施設」は（●）に区分した上で、下の各図のタイトルに凡例を付記する（例えば「融雪管★（2箇所）」）ことによって施設の種類を区分できないでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、雪対策施設の種類を区別することで、それぞれの施設の位置はわかりやすくなりますが、ここでは、下水道の雪対策施設と雪堆積場の位置関係をわかりやすく示すことに重点を置いており、雪対策施設の種類は区別せずに記載しています。</p>

No.	質問・意見	市の回答
4	<p>平本委員</p> <p>「札幌市下水道事業中期経営プラン 2025（案）パブリックコメント意見集」No. 6について、「PPP/PFI の導入に反対」とのご意見が寄せられました。重要なライフラインである下水道が、PPP/PFI などの手法によって（部分的にであれ）民間に委ねられることで、サービスの質が低下することをご懸念なさつてのご意見だろうと推測します。</p> <p>このご意見に対する「市の考え方」として「将来にわたり良好な下水道サービスを提供する」旨が回答されています。もし可能であれば、もう少し踏み込んで、「民間の創意工夫などを活用した事業運営をおこなう場合でも、現状のサービスの質を低下させることなく、将来にわたり良好な下水道サービスを提供する」というような表現であると、ご意見を提出された市民がより安心するのではないかと感じました。</p>	<p>現状のサービスの質を低下させないことが伝わるよう、以下のとおり修正します。</p> <p>【パブリックコメント No. 6 札幌市の考え方】</p> <p>札幌市では、DB (Design Build ※) など、多様な PPP/PFI について検討し、民間の創意工夫などを活用した効率的な事業運営に努めることとしていますが、引き続き、札幌市による水再生プラザの運営を 3 つの水系別に維持することなどにより、現状のサービスの質を低下させることなく、将来にわたり良好な下水道サービスを提供していきます。</p> <p>※ 設計 (Design) と建設 (Build) を一括して発注する手法</p>

No.	質問・意見	市の回答
5	<p>水澤委員</p> <p>「札幌市下水道中期経営プラン 2025」11 ページ「2 災害に強い下水道の構築」の「①雨水対策」におけるソフト対策「水害に備えた情報提供」のうち、「内水ハザードマップ」や「都心部における管路内の水位情報の提供」について、また、15 ページ「4 下水道エネルギー・資源の有効利用」の「①下水道エネルギーの有効利用」における「下水熱利用の推進」のうち、「市有施設への導入検討」や「民間事業者への広報」について、令和3 年度の施策の具体についての説明が下水道部会で無いのでしょうか。また、その他の令和3 年度の施策の具体についても説明を聞いてみたいと思います。</p>	<p>今年度公表予定の内水ハザードマップにつきましては、ご報告の準備が整い次第、市営企業調査審議会下水道部会を開催し、ご説明したいと考えております。</p> <p>その際、令和3 年度の主な事業内容について併せてご説明させていただきます。</p>